

CECAR8 テクニカル・セッション TS2-6

水と災害

－ 気候変動下での強靱な社会づくりに向けて －

日 時	2019年4月17日(水) 9:00 – 10:30
場 所	ホテル・メトロポリタン池袋 富士3
概 要	アジア・太平洋地域では、洪水や渇水、高潮などの水関連災害により深刻な影響が生じている。本セッションは、そうした地域で将来的な気候変動下で強靱な社会づくりを行うべく、各国の専門家による発表を通じて知見を共有し、災害の予測・被害軽減のための連携・協働の枠組みを構築することを目的とする。

プログラム

MC	澤野久弥 土木研究所 ICHARM グループ長
9:00 – 9:05	開会挨拶 渡辺博志 土木研究所理事
9:05 – 9:10	議長による紹介と趣旨説明 小池俊雄 土木研究所 ICHARM センター長
9:10 – 9:50	技術発表 <ul style="list-style-type: none">松木洋忠 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課国際室長 “Policy Vision on Rebuilding Flood-Conscious Societies”Prof. Chjeng-lun SHIEH 台湾・国立成功大学教授 “Management system for mitigation of flooding disaster in Tainan”Mr. Irfan Sudono インドネシア・水資源研究センター ヘッド “Integrated Flood Modelling and Monitoring in Indonesia”宮本守 土木研究所 ICHARM 研究員 (フィリピン公共事業高速道路省次官補 Engr. Maximo L. Carvajal の代理発表) “Transdisciplinary Approach for Risk Reduction of Water-related Disasters in the Philippines”
9:50 – 10:25	パネルディスカッション
10:25 – 10:30	取りまとめ・閉会 小池俊雄 土木研究所 ICHARM センター長



2015年鬼怒川洪水(茨城)



2017年赤谷川洪水(福岡)



2018年小田川洪水(岡山)